

1 必須提案事業

・鳥獣対策（生息状況等調査）

赤外線カメラ、可視光カメラ搭載のドローンを複数台同時で使用して、指定された範囲の生息状況調査を複数回実施する。

夜間の調査及び低高度の飛行により、調査の正確性を向上させる。

生息状況の把握後、調査の状況に応じて捕獲方法を検討する。

2 事業費

7,000千円以内（税込）

※ 1事業者を採択予定

※ 飛行に必要な許可・承認申請手続き、事業実施地域への移動等、事業実施に係る経費をすべて含む。

別紙

3. 必須提案事業で想定される成果物

業 務	鳥獣対策（生息状況等調査）	
業務概要	<p>複数機体を用いたシカ等の生息状況調査及び捕獲方法検討 赤外線カメラ、可視光カメラ搭載のドローンを複数台同時で使用して、指定された範囲の生息状況調査を複数回実施する。 また、生息状況の把握後、調査の状況に応じて捕獲方法を検討する。 なお、調査の正確性向上のため夜間の調査及び低高度の飛行が可能であること。 調査時にはドローン映像等の遠隔情報共有システム (Hec-Eye) を用いての実施を想定。</p>	
想定地域	<p>県内山間部（以下の候補地から 1 箇所を想定） ・播磨科学公園都市周辺 ・丹波市青垣町周辺 （候補地は変更になる可能性あり） 調査面積は 3 ha 以上を想定 想定高度は 50m～70m</p>	
計測方法	赤外線カメラ及び可視光カメラ撮影	
計測時期	11 月～2 月	
納品成果	データの種類	ファイル形式
	実施状況の写真・動画	Jpeg、Mpeg 等
	野生鳥獣動向捕捉報告書	Word